

さかど

ロイヤルの園だより

発行
(福)栄光会
さかどロイヤルの園
坂戸市大字森戸 739-1

「秋の味覚ランチ」

二層亜麻のくだり
介護職員

十一月十二日に二層亜麻・鵜のくだりでは「秋の味覚ランチ」と称したイベントを開催しました。当日はユニット職員が手作りの食事を召し上がっていただきました。メニューは、きのこの炊き込みご飯、さつま芋の味噌汁、鮭のちゃんちゃん焼き、南瓜のサラダと秋が旬の物をふんだんに使用しました。また、デザートには柿とリンゴを準備してみました。フルーツは朝からカウンターに置いておくと、皆さん「美味しそうだ」「食べられるの?」などと思いに話されている姿がありました。調理が始まると興味津々な方がいたり、ご入居者同士でお話しされている方がいたりしました。お手伝いできる方には南瓜をつぶしてもらったり、きのこを細かく裂いてもらったりと協力してもらいました。「若い時は色々やっただけだね」と会話のきっかけともなり、みんなで作る醍醐味だと思っています。

鮭のちゃんちゃん焼きはホットプレートを使用して調理しました。皆さんの間近で作っていたため、「いいにおいだ」「混ぜた方がいいかな」など蓋を開けるたびにお話しされました。また、鮭も骨取りの物を使用したため見た目もインパクトがあり、舌だけでなく目でも楽しんでいただけたかと思えます。お食事は皆さんいつも以上に召し上がっていただけたので、作った身としても大変うれしく思います。

施設内で暮らしていると、だんだん季節が感じにくくなってしまうのですが、今回のような行事を通して季節の移り変わりを感じていただけるよう精進していききたいと思っています。

「勉強会」

二層瑠璃のくだり
介護職員

さかどロイヤルの園では月に二回ほど勉強会を行っています。内容は食事や入浴・移乗などの身体介助について、虐待防止や感染症予防など様々です。各テーマについて担当の職員が資料を作り講師をし、他職員へと伝えていきます。一つの介助をみても色々な方法があり、またご入居者によって変わってきます。勉強会には経験年数もバラバラな職員が参加するため、資料の内容だけではなく参加した職員同士での知識や経験の共有を行うことができます。基本的な知識なども勉強会を通し改めて確認することが出来ます。時には実際に身体介助をうけ、私たちが介助をしている時にご入居者がどんな気持ちなのかを感じられるような内容を行うこともあります。

これからも勉強会にて様々なことを学び、ご入居者が安心して過ごせるよう精進してまいります。

「願い」

事務所
生活相談員

今年も残すところあと僅かになりました。コロナ禍の面会制限を緩め、十月十一月は久しぶりにお部屋での面会を行うことができました。また、外出・外泊をされご家族様と楽しいひと時を過ごされた方もいらっしゃいました。外出先からお戻りになられた際、満面の笑みで「ただいま!」と仰られ、その満足そうな様子にこちらもうれ

しくなりました。

しかしながら、今月から再び感染症対策のため面会制限をさせていただいております。ご家族様のご理解、ご協力ありがとうございます。今後何となく感染症拡大にならぬよう努め、この時期を乗り切っていきたいと思っています。いつの日にか以前のような制限のない生活に戻れることを願っています。今後ともよろしくお願いいたします。

「三層浅緑・瑠璃ユニット 運動会」



「みかんの木」

一層浅緑のくだり

介護職員

秋も深まり朝晩の冷え込みが増してきました。そんな冬を迎えようとしているこの時期に、我が家の庭では一本のみかんの木が毎年たくさんの実をつけてくれます。残念なことにはこの数年は毎年のように大量のカメムシがみかんの実についていることが多く、気分的に食べずにいました。しかし何故か今年に限ってはカメムシの姿が全然見えなかったのだ、久しぶりに採りたてのみかんを食べてみましたけどどのみかんもとても甘く美味しかったです。時折酸っぱいみかんもありましたが、その後に食べるみかんの甘さがより際立つので、それも一興かなと感じ食べています。

また我が家では猫も飼っているため、毎年冬になるとコタツを出します。猫と一緒にコタツで温まりながらみかんを食べる日常に、改めて「日本に生まれて良かったな」と感じています。

「紅葉狩り」

三層鶉のくだり

介護職員

昼夜の寒暖差が大きくなり、さかどロイヤルの園周辺の木々が綺麗に色づいています。先日、箱根まで足をのばして紅葉狩りをしてきました。目に映る山々が赤や黄色に染まっていた。観光地は平日でも多くの観光客で賑わっていました。その賑わいの中には、さまざまな外国語が飛び交い、日本人よりも海外からの観光客の比率が多いように感じました。撮影スポットの行列に並ぶと前後が海外の方で、カタ

コトの英語で写真のお願いをしたり、休憩のベンチをゆずりあい少しですが交流を楽しみました。土産物店では、器用にジエスチャーと日本語を組み合わせて接客をしていました。今はどこへ行ってもこのような光景が当たり前になりましたが、紅葉の美しさは世界共通で、お団子を食べながら紅葉を楽しむ姿も共通でした。施設へ戻ったら、お散歩をして、ご入居者にも紅葉を楽しんでいただきたーいと思った一日でした。

「止まらないクマ被害」

四層亜麻のくだり

介護職員

十一月に入り秋も深まって朝晩寒い時期になってきましたが今年のクマによる人身被害の多さに大変心を痛めています。特に例年以上に市街地や住宅地での目撃、被害が多発しているという報道に強い危機感を覚えます。その背景には餌となるブナなどの大凶作やクマの生息域の拡大があること。冬眠を前に餌を求めて人里に降りてくるクマが増えている現状はもはや山間部だけの問題ではありません。

私の故郷である山形でも毎日のようにクマ被害が聞かれ故郷に住む友人も他人事ではないと話していました。私たち一人ひとりも自分の身は自分で守る意識を持ち、これ以上の被害を防ぐ努力が必要かと思っています。

「あつという間の一年」

三層瑠璃のくだり

介護職員

早いもので今年もあとわずかです。ついこの間、令和七年のお正月を迎えた気がするのですが、一年一年が本当に早く感じます。年齢を重ねることに時間の経過が早く感じることをジャーナーの法則というそうです。法則があるくらいですので、一年があつという間に感じるのは気のせいではないようです。

気がつけば我が家も築三〇年以上たちました。新築した時にサンスベリアの鉢植えを買いました。今も元気に育っているのですが、今年の夏に初めて花が咲きました。調べてみたところ、サンスベリアに花が咲くことはとても珍しいことだそうです。小さい出来事ですが、何か良いことが起きるのではないかとワクワクしました。

これから寒くなりますが、きつとあつという間に冬が過ぎ、また暑すぎる夏が来てまた……あつという間に一年が過ぎていくことでしょう。普通に一年を過ごしていけることに感謝したいと思います。

「四層亜麻・鶉ユニット お月見」

